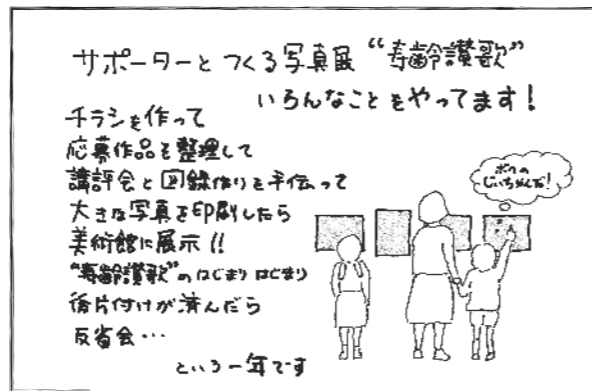
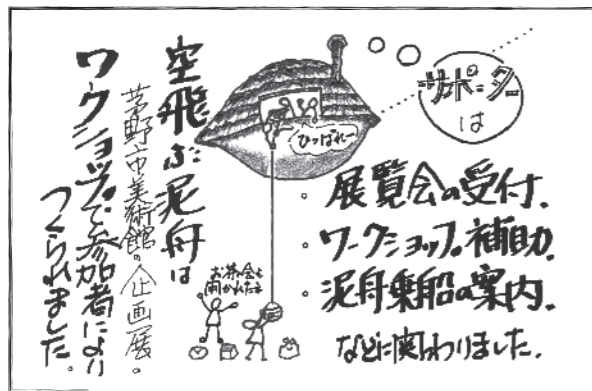


市民館と地域の架け橋
サポーター活動の
ひろしま



劇場・美術館・交流の分野で地域のサポーターがさまざまな活動をしています。
絵・文 市民サポーター

市民一人ひとりが主人公になれる場
The place where every community member takes a leading role

あなたの
アイデア
大募集！
2022
3/2 [水] → 3/31 [木]

茅野市民館
長野県茅野市塚原一丁目1番1号
(JR 茅野駅東口直結)
Tel 0266-82-8222



茅野市民館・茅野市美術館 事業アイデア募集 2022→2023
地域に暮らす一人ひとりの文化への思いや、さまざまな表現への興味を知り、皆さんとともに知恵や工夫を出し合い、事業として実現する「文化創造」のプロセスを大切にしたい。そんな思いを込め、茅野市民館・茅野市美術館では毎年、地域の皆さんから事業についてのアイデア提案を募集しています。

※今回募集するアイデアの内容やご意見は、2023年度の茅野市民館・茅野市美術館の事業検討に生かします。

アイデア募集から 事業検討・実施まで

2022年
3月
アイデア募集
アイデアシートに記入して提出してください

5月～9月(予定)
茅野市民館・茅野市美術館の2023年度の事業を検討する「事業企画会議」を数回実施。これからの地域での役割やニーズを念頭に、寄せられたアイデアを盛り込んで事業案を考えていきます。

アイデアの内容や思いをくわしくかがうやりとりも

10月～11月
2023年度の事業計画が決まる

2023年
1月
提案者への報告

4月
アイデアを盛り込んだ事業がスタート

アイデアって どうやって出すの？

アイデア募集

募集期間：2022年3月2日(水)～3月31日(木)
対象：どなたでも(個人・グループ不問) 料金：無料

応募方法

- 「アイデアシート」から
アイデアシートに必要な事項を記入し、茅野市民館事務室までお持ちいただくか、郵送またはFaxにてお送りください。
- ウェブサイトの「お申込みフォーム」から
以下のウェブサイトにある「お申込みフォーム」に必要な事項を入力し、お送りください。

ウェブサイト
<http://www.chinoshiminkan.jp/info/2023idea.html>

お問合せ・ご応募先

茅野市民館 指定管理者 株式会社地域文化創造
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 (JR 茅野駅東口直結)
Tel 0266-82-8222 Fax 0266-82-8223
E-mail: ask@chinoshiminkan.jp
受付時間：9:00～20:00 休館日：毎週火曜日(火曜が祝日の場合、翌平日)

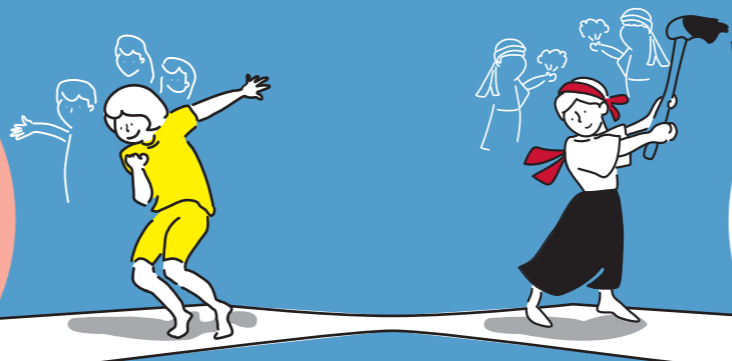
わたしのアイデア

以前、自分のからだを感じながら、まわりとのコミュニケーションのなかで動きの可能性を広げるワークショップに参加しました。**この地域のみなさんとも体験できたら!**

ふみこさん

こんなかたちに...

劇場に親しむさまざまな体験をお届けするプログラム「茅野市民館をサポートしませんか」のなかで、**ワークショップ**が実現。どんなところを大切にするか、講師のダンサーさんをまじえて内容を一緒に考えました。



こんなかたちに...

長野県内 31 校の高校書道部が集まってパフォーマンスを披露する「**長野県高等学校書道フェスティバル**」を開催。書道部関係の先生方に声をかけ、一緒に企画を実現しました。

わたしのアイデア

市民館で劇場体験のワークショップに参加したら、**マルチホールっていろんな使い方ができると知りました。娘が高校生のころやっていた書道パフォーマンス、ここでできたらすごそう。ぜひやりたいです。**

きよしさん

わたしのアイデア

さまざまな表現の作品に、鑑賞者がそれぞれ感じたことからタイトルをつけてみる展覧会。**美術にあまりなじみがない人でも、気軽に、そして深くアートに親しむきっかけとなるアイデアです。**

いたるさん

こんなかたちに...

公募した作家の作品に鑑賞者がタイトルをつけ、作家がタイトルを選び、「名付け親」となった鑑賞者に作品をプレゼントする展覧会「**メイメイアート**」に。企画内容から一緒に考え、これまでに3回開催しています。



こんなかたちに...

88歳を最高齢に21組52名が出演する**ファッションショー**が実現。サポーターが演出を考え、地域の専門家にヘアメイクやアレンジ、ポーズや動きのアドバイスをもらいました。ランウェイの姿は写真愛好家が撮影し、茅野市美術館の公募写真展「**寿齢讃歌**」で紹介しました。

わたしのアイデア

シニア世代が主役のファッションショー。お気に入りの服や思い出の一枚を着て、**ライトを浴びてランウェイを歩く姿を見てみたい!** 輝く姿を写真におさめて展示もできれば。

まゆみさん



2021年度 **いろんな人と** こんなことをしてきました

地域の美術館・博物館や公民館、市民活動センター、コワーキングスペース、観光まちづくりなど、アートの視点で地域の文化をつなぐ連携事業も。

いろいろな施設・機関と一緒

先鋭的なアーティストと、人のつながり

演劇・舞踊・美術・音楽...ジャンルを超えた舞台の演出家・小池博史さんの作品を映像で。地域のファンが魅力を届けるInstagramも。

八ヶ岳の音楽家やクリエイターが中心となり、ピアノとダンス、映像・音響のデジタルアートによる舞台作品を創作上演。地域のこどもたちとご家族対象の招待公演も。

ダンサーの森下真樹さんと、写真家の石川直樹さんが諏訪地域への滞在を重ね、「未知の茅野」を深掘りしていくプロジェクトがスタート。

10年前の舞台公演で一緒にした地域の皆さんと森下さんの再会も!



地域の人が主体となって

地域のクラシック音楽愛好家が企画するコンサート。

地域の邦楽愛好家によるコンサート。今年度はオンライン配信で。

裏方やフロントスタッフには実行委員とサポーターが。

「こんなことがしたい」というアイデアを、提案者が主体となって、市民館がサポート役となり一緒に実現する「**ショーケース**」事業。

「こどもたちの縄文アート」はサポーターが展示を担当。



いろいろな人とまぜこぜで

青い光が世界をつなぐ、自閉症啓発デーの「Light It Up Blue」。地域の実行委員によるアートWSやトーク付き映画上映も。

「聞こえる人、聞こえない人がいっしょに楽しめる」映画の上映会。延期になり、今年2022年7月に実施へ。

障がいのある人の表現を紹介する長野県の公募型アート展の集大成も。

